

風を感じて

～患者さまとご家族の「かけがえのない時」を支える緩和ケア病棟～

当院の緩和ケア病棟は、6床という小さな規模で、地域に寄り添い療養生活を支えている温かい病棟です。

ここでは、医師、看護師、公認心理師、リハビリ療法士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士といった多職種専門チームとホスピスボランティアが一丸となり、全人的なサポートを提供しています。毎週カンファレンスを行い、多職種で情報を共有しながら、一人ひとりに合わせた最善のケアを検討し実行しています。また、病棟内だけでなく、地域やご自宅での療養を支える外来や訪問看護とも密接に連携し、患者さまの望む場所で途切れることのないサポートを提供しています。

緩和ケア病棟の役割は、身体的な苦痛の緩和にとどまりません。病棟スタッフは、患者さまとご家族が、その人らしく心穏やかに過ごせるよう心のケアや生活の質の向上にも力を注いでいます。その一環として、季節の移ろいを身近に感じていただけるような様々な行事を企画し開催しています。

先日、病棟を訪れた際、患者さまがご家族と一緒に季節の音楽に耳を傾け、笑みを交わし、穏やかな時間を共有されている様子を拝見しました。患者さまやご家族が抱える思いは深く、ときに複雑なものがあると思います。しかし、苦しみや不安を分かち合い、安らぎを「共に」感じられるこのような時間は、何ものにも代えがたい大切なものではないでしょうか。緩和ケア病棟は、皆さまの大切な時間を支えていく場所であればなりません。この「かけがえのない時」を提供し続けることが、緩和ケア病棟の重要な役割の一つだとあらためて実感しました。

私は、今年度4月に看護部長を拝命いたしました。これからも、患者さまとご家族、そして病棟スタッフが心を通わせる温かい病棟であり続けられるよう、病棟運営を支えてまいります。何かございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



副院長兼看護部長
むろたに のぶ こ
室谷 伸子



緩和ケア病棟スタッフ

緩和ケア病棟多職種紹介



臨床心理士・公認心理師

の 野津 あい 愛

私は臨床心理士として、患者さまやご家族の心に寄り添っています。病棟では、花の咲くテラスで過ごしたり、お抹茶やコーヒーを楽しんだり、ボランティアさんが届けてくださる日常の風に心と和むひとときがあります。そんな時間が、その人らしさを思い出すきっかけになることもあります。ご家族が気持ちに押しつぶされそうときには、お話を聴くことも大切な役割です。私が大切にしているのは、安心して気持ちを表せる場をともに作り、人生のものがたりを尊重しながら、心が少し軽くなる瞬間を一緒に見つけていくことです。



音楽療法士

にし はら か よ 西原 佳世

緩和ケア病棟では、患者さまやご家族の方々が少しでも心と和むひと時を過ごしていただけるよう、お部屋やデイルーム、テラスなど様々な場所で、その時々の方々の心身の状態に合わせて、馴染みの歌や思い出しの曲などを歌ったりバイオリンの生演奏を聴いていただいています。

日々、患者さまやご家族の皆さまに音楽をお届けする中で教えていただいたこと、それはたった1曲が患者さまやご家族にとっては大切な1曲であること、残されたご家族にとって特別な1曲になるということです。

これからも1曲1曲を大切にしながら、患者さまやご家族の心に寄り添える音楽の提供が出来るよう努めてまいりたいと思います。

皆さまからのご質問について

①緩和ケアはいつ頃かかればいいのか？

癌と診断された時から緩和ケアは始まります。かかりつけ医と相談していただき、当院へ紹介状をお願いしてください。

②自宅へ退院した後のかわりか？

退院前に在宅部門と連携を取り必要なサービスの調整をおこないます。ご自宅で不安に思われること、どうしたらいいのか迷われた時には緩和ケア病棟にご連絡ください。相談を承ります。

③面会はどうなっているの？

現在面会は親族の方のみとさせていただきます。お子様の面会は小学生以上です。

ペットも事前に調整させていただきます可能な限り面会していただいています。面会時間につきましてはお問い合わせください。



ボランティアだより

「ティーサービスボランティア」

ボランティア 山根 輝子

入院中のご主人の好きな「水戸黄門」の曲をティーサービスの時に演奏したいと、ハーモニカの上手な奥さまの希望で私も一緒に吹かせて頂きました。「この紋所が目に入らぬか～」と笑顔のご主人が手作りの印籠を掲げて、スタッフの方たちの暖かい拍手を受け、バンババ・バン♪と奥さまの演奏から始まりました。嬉しそうなお二人の姿を見た娘さんが「ここではこんな事が出来るの？」と驚かれました。

以前、日野原重明先生が御調町で講演された時「福祉の町の、日本一小さいホスピス病棟ですが、市民の皆さんは誇りにしてください」とおっしゃいました。

日本一小さいホスピス病棟(?)ならではの温かく家庭的な雰囲気、患者さんとご家族は心穏やかに大切な時を過ごされるのでしょうか。

私は患者さんの優しさに励まされて、感謝しながらボランティアをしています。



新スタッフ紹介

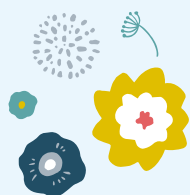


主任看護師
ひら むね けい こ
平 棟 敬 子

今年度4月から約2年ぶりに訪問看護ステーションへ配属となりました。

訪問看護は、緩和ケア病棟から退院される方の状態に合わせた在宅支援も行っています。

病院から自宅での療養は、ご本人さまはもとより介護されるご家族の不安も強いと思われます。気持ちに寄り添ったケアや助言・提案を行い、痛みやしんどさに対して医師や病院などの多職種で連携を取りながら、より良い在宅療養をご支援していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



歯科衛生士
やす おか はる な
安 岡 春 菜

今年度から、緩和ケア病棟を担当させていただくことになりました。

緩和ケア病棟では、一人ひとりのお口の状態に応じた専門的口腔ケアを行っています。

お口の中を清潔に保つことは「食べる」「話す」といった日常の楽しみを支えるだけでなく、お口の渇きなどの不快感を軽減させ、その人らしく穏やかに過ごしていただくことに繋がる大切なケアだと感じています。

今後も多職種と連携し、患者さまやご家族の思いに寄り添った丁寧な口腔ケアを心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師
た なべ し おり
田 邊 詩 織

令和7年4月から緩和ケア病棟に配属になりました。

緩和ケア病棟は看取りのイメージがありましたが、実際は疼痛コントロールをし、退院される患者さまもおられることを知りました。

また、患者さま一人ひとり、精神面・身体面で状況が異なり、日々状態が変化していかれる中で、患者さまやご家族への声かけ一つで、不安が緩和されます。日々の関わりやコミュニケーションや、そこから得られる信頼関係の大切さを実感しています。

患者さまやご家族への関わり方などで悩むこともたくさんあり、日々学ぶことばかりですが、緩和ケア病棟で過ごされる方々の苦痛や不安が緩和され、より良い時間を過ごしていただけるよう、努めていきたいと思っています。



薬剤師
とも たき ま ほ
友 滝 真 帆

令和6年4月から緩和ケア病棟を担当しております。患者さまやご家族の皆さまに安心して過ごしていただけるよう、お薬の面からサポートさせていただきます。痛みや吐き気、眠れないなどのお悩みに対して、多職種と連携をとりながら一人ひとりに合った治療を一緒に考えます。ときには病棟のイベントに、音楽療法士とともに楽器演奏で参加し、楽しいひとときを一緒に過ごさせていただいています。

チームの一員として「その人らしい時間」を支えるお手伝いができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



ご 家 族 の 声



ホスピスに入院させてもらい見舞いでどんな言葉をかければいいのかかわからない時、看護師さんに「ベッドの傍にいてもらうだけでいいですよ」と励ましてもらいました。命が限られたことを自覚せざるを得ない人に、自分はどうかあるべきかを考えさせられた時間でした。そのことを仕事としている方の働く姿や言葉は、私にとってかけがえのない存在となりました。残る人生1日1日を大切にしたいと思っています。

A・O様

病棟のひとコマ



月に1度の抹茶サービス



患者さんと
ひまわりの種を
植えました



バルコニーのひまわりが
綺麗に咲きました



ひな祭りイベント



患者さまが生け花を
してくださいました



お誕生日のお祝いは
大変喜ばれます



ミニキッチンでご家族が
お蕎麦を茹でています



ミニキッチン(そば)



ボランティアさんの
ハーモニカとギター演奏に
癒されます



クリスマス
コンサート

緩和ケア病棟基本方針

- (1) 病病連携・病診連携に基づいた在宅ホスピスと施設ホスピスをシステムの両輪とし、さらにボランティアなど地域全体で支える独自の地域に密着した緩和ケアシステムを構築する。
- (2) その人らしく充実した時間を送っていただくために、早い時期から在宅・施設において柔軟で継続的な関わりを持つ。
- (3) 患者さま・ご家族の満足と安心を得られるように、質の高い・心のこもったサービス提供に努め、患者さま・ご家族の声や第三者評価などにより、ケアの質の維持・向上を目指す。

平成22年4月1日制定
令和3年4月1日改定

緩和ケア理念

- (1) 患者さまの生き方や意思を尊重した緩和ケア
- (2) 早い時期からの継続的な緩和ケア
- (3) 在宅および施設における総合的な緩和ケア
- (4) 保健・医療・介護・福祉の連携による質の高い緩和ケア
- (5) 地域に密着した地域緩和ケア

平成14年4月1日制定
令和3年4月1日改定

★ご意見・ご感想をお聞かせください。

公立みつぎ総合病院

<http://www.mitsugibyoin.com>

〒722-0393 広島県尾道市御調町市124番地
TEL0848-76-1111 FAX0848-76-1112
緩和ケア病棟直通 0848-76-1328

